



2018年2月期

(2017年3月1日～2018年2月28日)

決算説明会

わらべや日洋ホールディングス株式会社
(2918)

2018年4月17日



2018年2月期業績報告 および2019年2月期業績予想



2018年2月期連結業績

(単位:百万円)

	2017.2期	2018.2期		前期比	修正予想比
	実績	修正予想 (2017.10公表)	実績		
売上高	214,305 (100.0)	219,600 (100.0)	219,103 (100.0)	4,797 <2.2>	△496 <△0.2>
営業利益	4,099 (1.9)	4,150 (1.9)	3,731 (1.7)	△367 <△9.0>	△418 <△10.0>
経常利益	4,304 (2.0)	4,450 (2.0)	4,023 (1.8)	△281 <△6.5>	△426 <△9.6>
当期純利益 (当社株主に帰属)	2,281 (1.1)	2,500 (1.1)	2,093 (1.0)	△187 <△8.2>	△406 <△16.2>
EPS(円) (当社株主に帰属)	130.09	142.56	119.40	△10.69	△23.16
ROE(%)	5.4	—	4.8	△0.6pt	—

* 2017.2期実績に特別損失として、関係会社債務保証損失引当金繰入額4.4億円、関係会社貸倒引当金繰入額2.6億円を計上

* 2018.2期実績に特別損失として、関係会社債務保証損失引当金繰入額2.4億円、関係会社貸倒引当金繰入額3.0億円、および固定資産減損損失4.4億円を計上

* ()内は売上比率(%), <>内は増減率(%), 2018.2期修正予想は2017年10月5日発表の修正予想数値

修正予想（2017年10月5日公表）との営業利益差異要因

(単位:百万円)

	2018.2期		予実差異
	修正予想 (2017.10公表)	実績	
営業利益	4,150 (1.9)	3,731 (1.7)	△417 <△10.1>

【差異要因】

食品関連事業 △512

労務費（製品構成の変化など） △212

材料費 △150

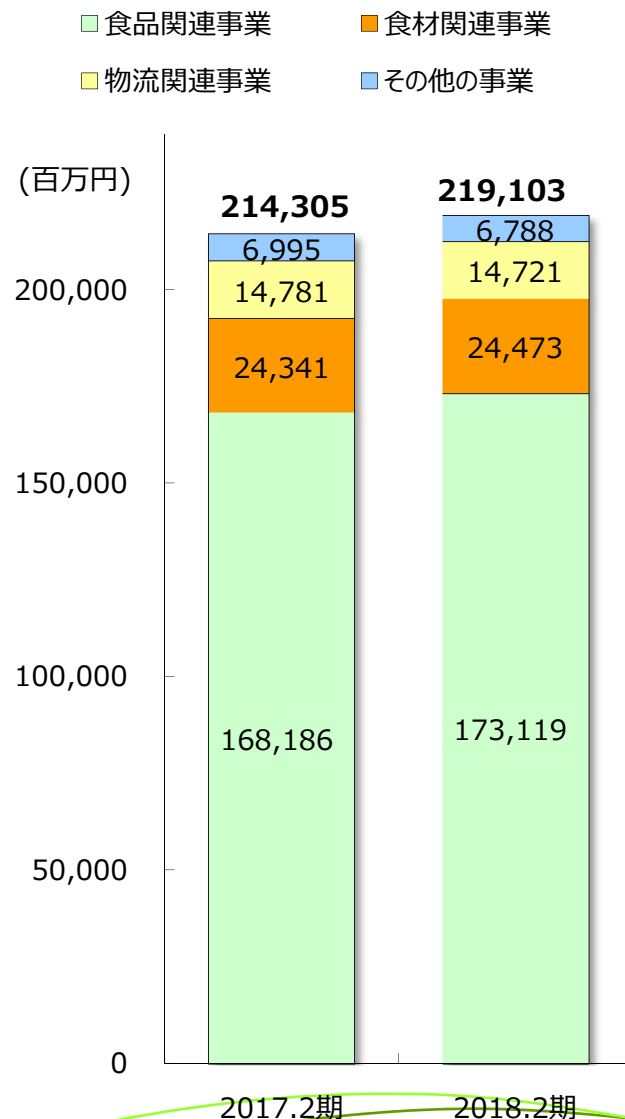
水道光熱費 △150

物流関連事業 +81

* ()内は売上比率(%）、<>内は修正予想比増減率(%）、2018.2期修正予想は2017年10月5日発表の修正予想数値

セグメント別売上高の状況(前期比)

(単位:百万円)



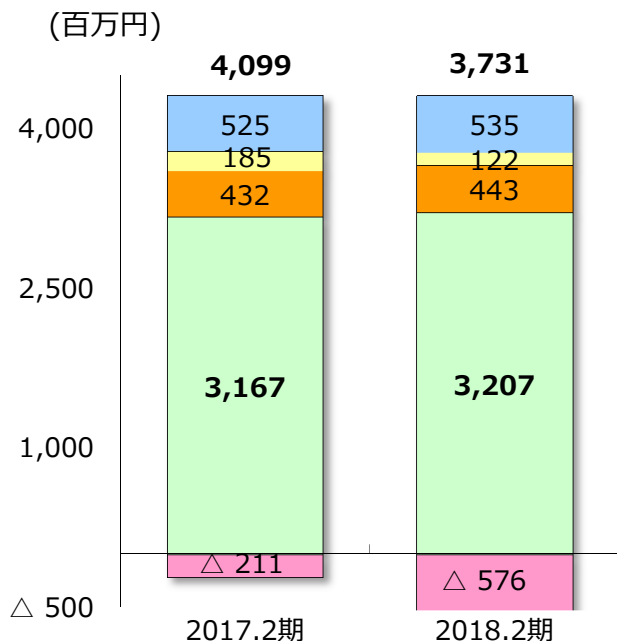
	2017.2期	2018.2期	増減額 <増減率(%)>	増減要因
売上高合計	214,305	219,103	4,797 <2.2>	
食品関連	168,186	173,119	4,932 <2.9>	(+) 納品店舗増、 チルド弁当売上伸長
食材関連	24,341	24,473	132 <0.5>	(+) 野菜・農産品の 取扱高増 ----- (△) 水産加工品の取扱 高減
物流関連	14,781	14,721	△59 <△0.4>	(△) セブン-イレブン店 舗向けおよび他向け 配送事業取扱高減
その他	6,995	6,788	△207 <△3.0>	(+) 人材派遣・業務 請負事業の売上伸長 ----- (△) 食品製造設備 関連事業における大型 案件の減

セグメント別営業利益の状況(前期比)

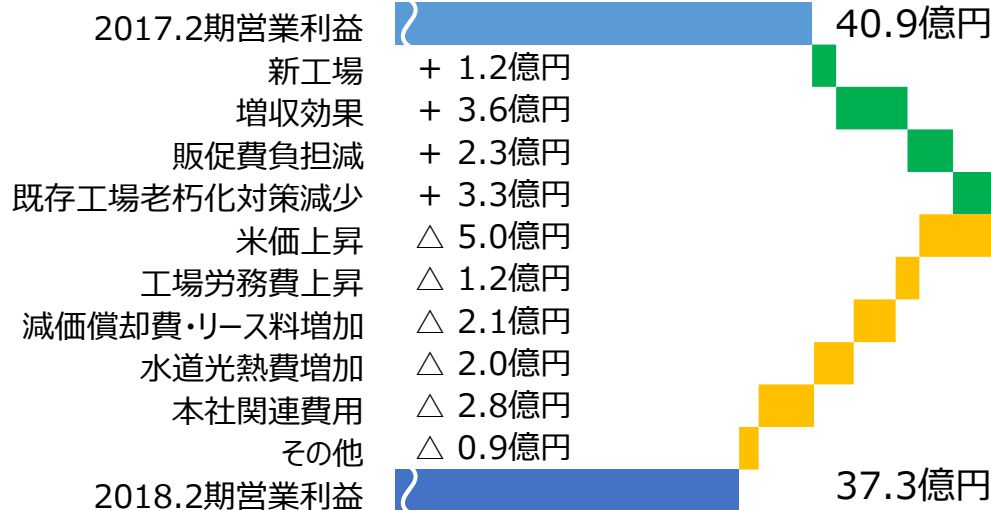
■ 食品関連事業 ■ 食材関連事業 ■ 物流関連事業

■ その他の事業 ■ 全社・消去

(単位:百万円)



	2017.2期	2018.2期	増減額 <増減率(%)>	調整後増減額 <増減率(%)>
営業利益 合計	4,099	3,731	△367 <△9.0>	△367 <△9.0>
食品関連	3,167	3,207	40 <1.3>	△257 <△8.1>
食材関連	432	443	10 <2.4>	10 <2.4>
物流関連	185	122	△62 <△34.0>	△62 <△34.0>
その他	525	535	9 <1.7>	9 <1.7>
全社費用・消去	△211	△ 576	△365 <->	△68 <->



**前期比 △3.6億円
増減要因**

営業外損益・特別損益のポイント

(単位：百万円)

	2017.2期	2018.2期	増減
営業利益	4,099 (1.9)	3,731 (1.7)	△367 <△9.0>
営業外収益	647 (0.3)	689 (0.3)	42 < 6.6>
営業外費用	442 (0.2)	398 (0.2)	△43 <△9.9>
経常利益	4,304 (2.0)	4,023 (1.8)	△281 <△6.5>
特別利益	— (—)	— (—)	— (—)
特別損失	708 (0.3)	995 (0.5)	287 < 40.5>
税金等調整前 当期純利益	3,595 (1.7)	3,027 (1.4)	△568 <△15.8>
法人税等合計	1,314 (0.6)	933 (0.4)	△380 <△28.9>
当期純利益 (当社株主に帰属)	2,281 (1.1)	2,093 (1.0)	△187 <△8.2>

2017.2期 特別損失の内訳

フレボファーム引当金繰入	5.0億円
日鰻引当金繰入	2.0億円

2018.2期 特別損失の内訳

日鰻引当金繰入	5.5億円
釧路減損	4.4億円

* ()内は売上比率(%) <>内は増減率

連結貸借対照表のポイント

(単位：百万円)

【資産】	2017.2期	2018.2期	増減	【負債・純資産】	2017.2期	2018.2期	増減
流動資産	36,316	30,952	△5,364	流動負債	26,660	26,053	△606
固定資産	47,561	55,936	8,375	固定負債	14,040	16,548	2,508
(有形固定資産)	(41,427)	(48,830)	(7,403)	(有利子負債)	(12,730)	(14,708)	(1,977)
(無形固定資産)	(920)	(904)	△16	負債合計	40,700	42,602	1,901
(投資その他)	(5,213)	(6,202)	988	純資産合計	43,176	44,286	1,109
資産合計	83,877	86,888	3,010	(利益剰余金)	(26,858)	(28,247)	(1,389)
				負債・純資産合計	83,877	86,888	3,010

資産合計 – 約30億円の増加

- 流動資産(現金及び預金等)の減少 : 約53億円
- 固定資産(建設仮勘定、リース資産等)の増加 : 約83億円

負債・純資産合計 – 約30億円の増加

- 流動負債(借入金等)の減少 : 約6億円
- 固定負債(長期リース債務等)の増加 : 約25億円
- 純資産(利益剰余金)の増加 : 約11億円

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

(単位：百万円)

	2018.2期
税金等調整前当期純利益	3,027
減価償却費	5,082
減損損失	444
引当金の増減額(△は減少)	437
受取利息及び受取配当金	△ 359
売上債権の増減額(△は増加)	△ 305
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 36
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 67
未払金の増減額(△は減少)	△ 1,109
その他	1,619
小計	8,733
法人税等の支払額	△ 894
その他	244
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,082
有形固定資産の取得による支出	△ 7,722
その他	△ 1,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,564

引当金の増減額 内訳	
貸倒引当金の増減額(△は減少)	195
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	△ 51
関係会社債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	242
賞与引当金の増減額(△は減少)	98
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△ 47

現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 5,733
現金及び現金同等物の期首残高	10,937
現金及び現金同等物の期末残高	5,203

2019年2月期 連結業績予想

(単位：百万円)

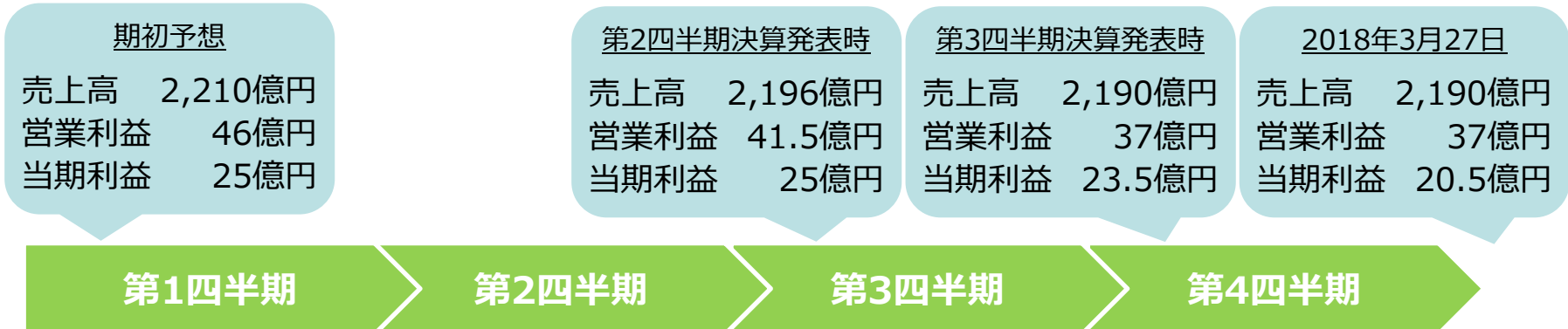
	2018.2期実績	2019.2期予想	増減
売上高	219,103 (100.0)	224,600 (100.0)	5,497 <2.5>
営業利益	3,731 (1.7)	4,000 (1.8)	269 <7.2>
経常利益	4,023 (1.8)	4,150 (1.8)	126 <3.1>
当期純利益 (当社株主に帰属)	2,093 (1.0)	2,150 (1.0)	56 <2.7>
EPS(円) (当社株主に帰属)	119.40	122.61	3.21
増減要因	<p>◆売上高 … 納品店舗増、Prime Deli連結効果 ◆営業利益 … (+)増収効果+7.0、製品規格の見直し+7.0、 Prime Deli連結効果+1.0、その他+0.9 (食材・物流・その他) (△)設備投資 (耐震設備、一時費用、償却費等) △8.9、労務費増△4.4</p>		

* ()内は売上比率(%), <>内は増減率(%)



中期的な課題および今後の施策

2018年2月期 総括①



業績予想下方修正の要因

- チルド弁当売上高の計画未達
- 中京地区売上高の計画未達

2018年2月期決算発表
 売上高 2,191億円
 営業利益 37.3億円
 当期利益 20.9億円

労務費比率の上昇(プロダクトミックスの悪化)

原材料費の上昇：規格見直しで吸収しきれず

水道光熱費の上昇

(株)日鰻減損
(シラスウナギの不漁)

2018年2月期 総括②：短期的な課題と施策

1. チルド弁当の活性化

- 売れ筋定番商品のリニューアル



浦和工場の稼働率改善

- 新商品を投入

2. 中京地区の活性化

- 人材、新商品の投入



チルド弁当の販売増

シェアは回復



特製ロスかつ丼
(税込498円)
2017/10/17~



特製親子丼
(税込450円)
2017/11/7~



鶏ちゃん焼き弁当(焼きそば入り)
(税込498円)
2017/12/5~2018/2/19



ふわとろ玉子の天津飯
(税込398円)
2018/1/9~



松阪牛の濃厚ビーフカレー
(税込698円)
2017/12/13~2018/3/6

中期的な課題および今後の施策

課題

1. 1店舗あたり売上高の拡大
2. 原材料費、労務費、水道光熱費の増加
3. 釧路、岩手工場における収益の低迷

課題 1 と施策

課題

1 店舗あたり売上高の拡大

施策

- チルド弁当生産体制の強化 → 施策 1 - ①
- 商品開発のさらなる強化 → 施策 1 - ②

施策：チルド弁当生産体制の強化

施策 1 - ①

チルド弁当製造設備（加熱～冷却までの一貫生産ライン）の投資

相模原工場 : 2017年10月稼動

堺工場 : 2018年 6月稼動予定

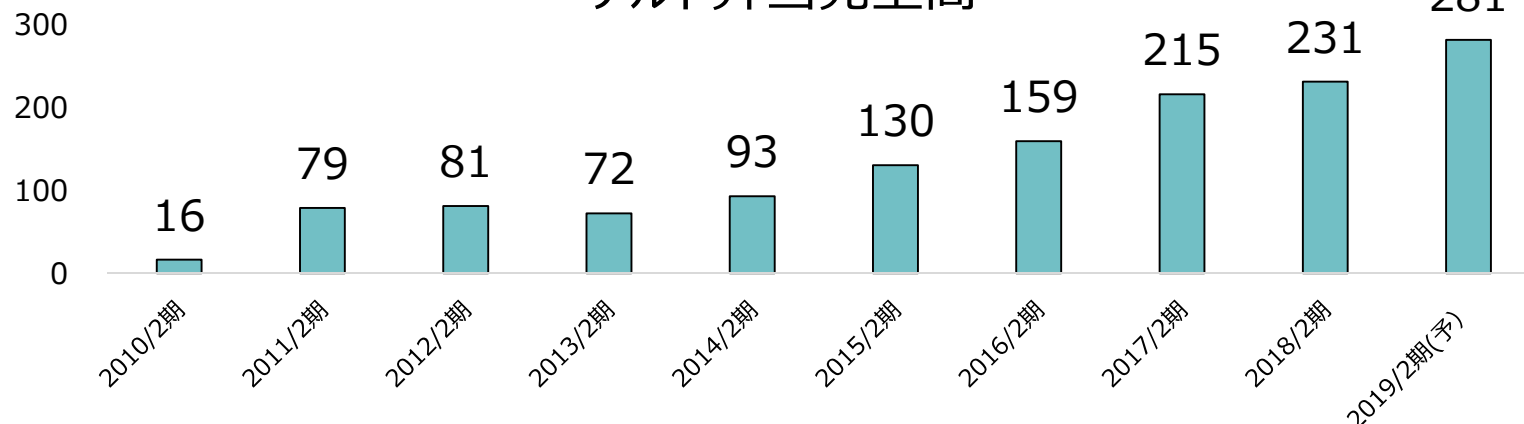
吉川工場 : 2018年10月稼動予定

名古屋工場 : 2018年10月稼動予定

生産能力拡大

(億円)

チルド弁当売上高



施策：チルド弁当生産体制の強化

施策 1 - ①

供給エリア
(県単位)



- 加熱、冷却、トッピングまで一貫ラインによる製造工場
- 従来型の設備による製造工場

吉川工場
浦和工場
相模原工場
名古屋工場
滋賀工場
堺工場
香川工場

札幌工場
釧路工場
岩手工場
南アルプス工場
北陸工場
三木工場

施策：商品開発のさらなる強化（米飯類）

施策 1 - ②

➤ チルド弁当メニューの強化

- ✓ チルド弁当主力品(かつ丼、親子丼、カレー、麻婆丼)：さらなる改善
- ✓ 新商品の開発(オムライス、ハンバーグ弁当など)：テスト販売に向けて

➤ おにぎりメニューの強化

- ✓ 厳選米おむすびの投入
- ✓ カラダを想う商品の開発



厳選米おむすび きやらぶき（国産ふき使用）
5/22～
（価格未定）



レタス一個分の
食物繊維

もち麦もっちり！枝豆ごはんおむすび 小海老入
4/17～
（税込130円）

施策：商品開発のさらなる強化（その他）

施策 1 - ②

▶ サンドイッチの刷新

- ✓ 食パンの改良
食感、風味を向上
- ✓ たまごフィリングの改良
- ✓ 長鮮度化

販売数の伸長
廃棄率減少

→ 発注の増加

▶ セブン-イレブンレイアウト変更への対応

- ✓ (株)日洋を中心にカウンター回り商品の開発強化

▶ 新規カテゴリーへの取り組み

- ✓ スムージー : 再度テスト販売を実施予定
- ✓ その他 : 中期的な収益貢献を視野に
複数の施策について取り組み中

課題 2 と施策

課題

原材料費、労務費、水道光熱費の上昇

施策

- セブン-イレブンとの連携強化
 - 商品規格および納価の見直し
- 生産効率の改善
 - 外国人技能実習生の活用推進
- 省力化機械の開発、導入推進

施策：省力化機械の開発、導入推進

- ✓ チルド弁当製造工場での省人化
刻み海苔小袋貼付装置の導入



- ✓ おにぎり製造でのさらなる生産性向上
おにぎり番重取り装置の導入



課題3と施策

課題

釧路、岩手工場における収益低迷

施策

- アイテムの集約
- 製造および配送の見直し
- 人員の効率的な配置

海外展開:

米国

- WARABEYA USA (ハワイ) : 工場移転、生産能力拡大
(2020年4月以降稼動)
- PRIME DELI (テキサス州、ダラス) : 4月以降に人材を投入
下期に店頭でのテスト販売を予定
2019年2月期より連結

中国 (北京・天津)

- 北京旺洋食品有限公司 : 売上は順調に拡大
→工場を増設(2018年8月以降稼動)

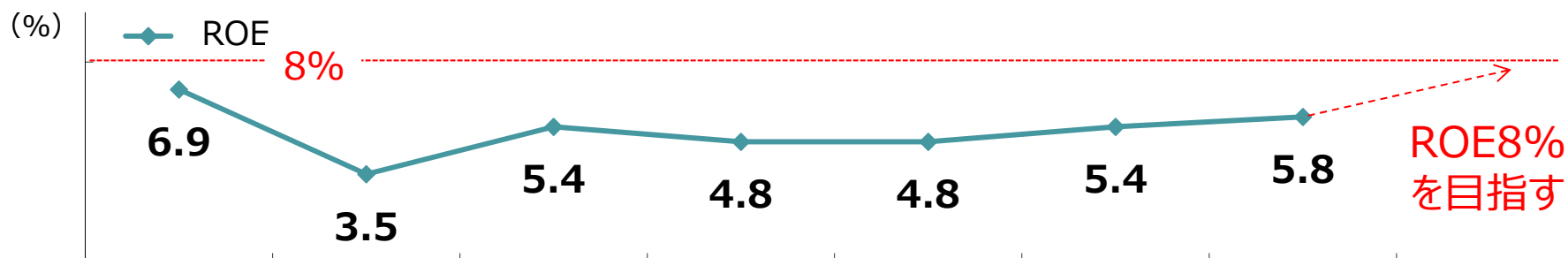
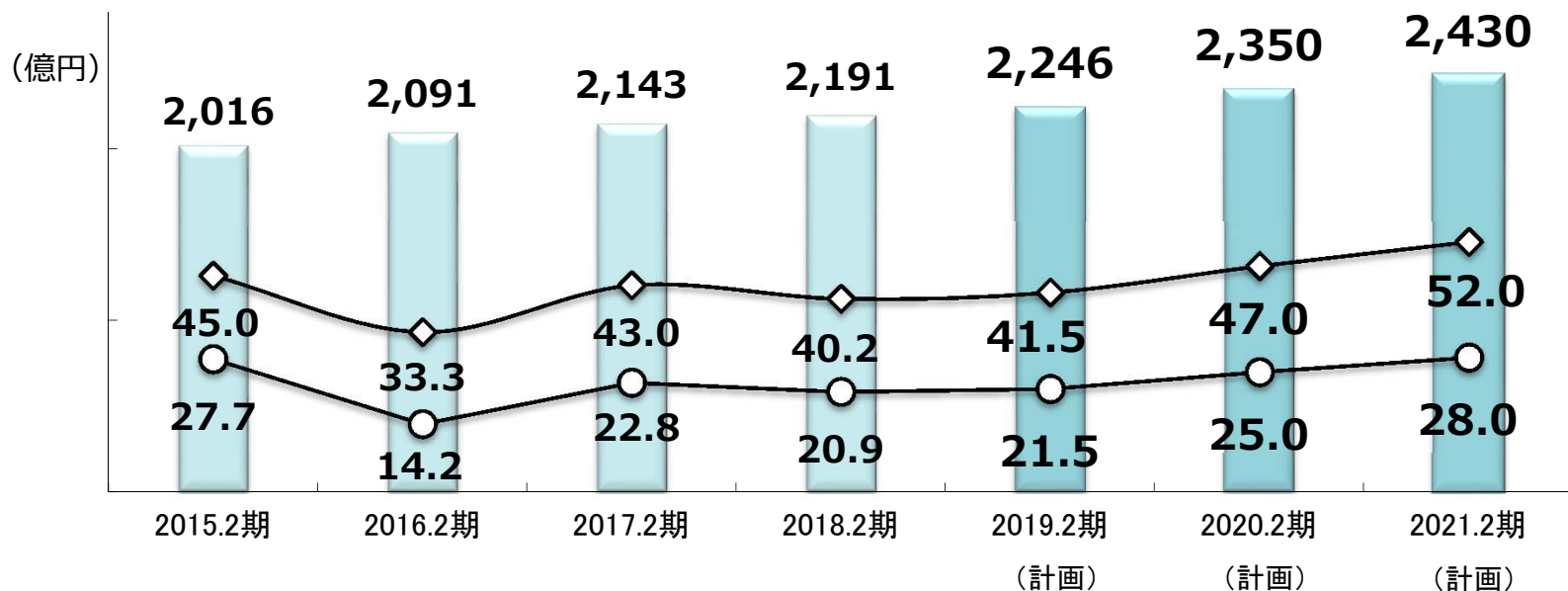
その他アジア

- タイ CPALL/CPRAM : 技術指導を継続

今後も成長市場にリソースを投入し、業績への貢献拡大を図る

中期経営計画（連結）

■ 売上高 ◇ 経常利益 ○ 当期純利益



グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

Warabeya
Nichiyo

Warabeya
USA

NICHIYO

Warabeya
Nichiyo HLDGS.

Bestrans

PROSYSTAS

Socialink

その他関連事業

国内

株式会社 日洋フレッシュ

株式会社 サンフーズ横倉


株式会社 日鯿

国外

Prime Deli Corp.

北京旺洋食品有限公司

北京日洋欣荣商贸有限公司



本資料には、当社の本資料作成時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれています。この「将来予測に関する記載」には本資料発表時点までに入手可能な情報に基づいた当社の経営判断や前提が述べられており、諸与件の変化により実際の業績が「将来予測に関する記載」とは異なる可能性があります。したがって、本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来にわたって正確であることを保証するものではありません。

